

坐来ワークショップ

くにさき 世界農業遺産国東半島宇佐地域 「七島藺(しちとうい)で作る季節のオブジェ」と坐来のランチ

大分県北部 国東半島宇佐地域は、平成25年に国連食糧農業機関（FAO）の世界農業遺産に認定されています。

国東半島は、畳表の材料となる七島藺が日本で唯一栽培される地域です。

坐来 大分では、七島藺工芸を今に伝える七島藺工房ななつむぎの岩切千佳氏と七島藺生産者・国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会会長の林浩昭氏を講師に、ワークショップを開催します。

国東特産の七島藺に触れ、地域の食材を最高の料理で届ける坐来 大分の特別コースをお楽しみいただける貴重な機会です。ぜひご参加ください。

<プログラム>

- ◎世界農業遺産と七島藺にまつわるお話
- ◎くにさき七島藺工芸製作体験
お正月用リース ※お持ち帰りできます
- ◎お食事
世界農業遺産地域の食材をふんだんに使ったコース料理



岩切 千佳



林 浩昭

七島藺（シチトウイ）とは

「琉球畳表」と言えばもともとは豊後の国の七島藺（カヤツリグサ）で織り上げた畳表のことを指していました。江戸時代にトカラ列島（七島）から伝わったと言われています。イ草と違い、断面が三角形になっており、耐久性に優れています。色つやよく肌触りもいいことから、全国で琉球畳の表として使われたほか、東京オリンピックまでは柔道畳として使われていました。機械化が難しいことから生産が激減し、今では国東半島のみの栽培で、6軒の生産農家が生産しています。

近年、丈夫で人に優しい七島藺の良さが見直されており、くにさき七島藺振興会を中心に再生に取り組んでいます。



制作予定（お正月用リース）
※写真はイメージです

開催日時：令和4年11月26日(土) 11:00～（受付：10:30～）

講師：七島藺工房ななつむぎ 岩切 千佳（七島藺工芸作家）

国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会 会長 林 浩昭（七島藺生産農家）

開催場所：坐来 大分

（東京都千代田有楽町2-2-3 ヒューリックスクエア東京3F）

参加費：7,000円（材料、料理代 税・サ込）

募集人数：24名（先着順）

申込方法：下記まで電話にてお申込みください。

坐来 大分 TEL:03-6264-6650